

## 第 5 回浜田市総合振興計画審議会 会議録

日時 平成 27 年 8 月 20 日(木)  
午後 6 時～午後 8 時 00 分  
場所 浜田市役所 (4 階) 講堂

[進行/会長]

<b>1 開会、会長あいさつ</b>	
会長	<p>定刻になりましたので、只今から第 5 回「浜田市総合振興計画審議会」を始めさせていただきます。</p> <p>前回の第 4 回審議会では、部門別計画の素案について、3 つの部会を設置して審議することとしました。その後、それぞれの部会で 2 回ないし 3 回の部会を開催していただきまして、熱心にご議論いただいたと聞いております。</p> <p>本日は、その審議状況についてご報告いただき、引き続き全体でご審議いただきたいと考えております。</p> <p>また、基本構想の将来像などについても、ご審議いただきますのでよろしくお願い申し上げます。</p> <p>なお、この審議会での審議は、実質的に今回と次回でとりまとめ、9 月末には市長へ中間答申を行う予定にしたいと考えておりますので、どうかよろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは、本日の欠席委員について事務局からお知らせ願います。</p> <p>あわせて、配付資料の確認もお願いします。</p>
地域政策部 次長	<p>田中副会長、山岡委員、玉置委員の 3 名の方から欠席の連絡をいただいております。</p> <p>続いて配布資料について確認させていただきます。 (配付資料の確認)</p>
<b>2 議題</b>	
<b>(1) 中学生アンケート結果について</b>	
会長	<p>それでは、議事に移りたいと思います。</p> <p>まず、(1) 中学生アンケート結果について、事務局から説明をお願いします。</p>
地域プロジェクト推進室長	<p>参考資料をご覧ください。</p> <p>浜田市に在住している子どもで近隣の江津や益田の高校に通っている高校 3 年生を対象にアンケート調査を実施しました。この結果の詳細についてすべて説明をすることができませんので、特に注目するところを押えながら、アンケートの結果を報告します。</p> <p>対象者は、浜田市の中学 3 年生、浜田市内の県立高校に通う高校生全員、市外から来ている生徒も含んでいます。</p> <p>7 ページでは、「浜田市が好きか」という問いに対し、70%が「好き」あるいは「どちらかというところ好き」という回答を寄せています。また、73%が「浜田をよくしたり、元気にしたいと思うか」という問いに対し、「そう思う」「どちらかというところそう思う」という回答を寄せています。</p> <p>浜田市の好きなおところは「自然環境」「人間関係」「生まれ育った場所」が多く、浜田市の嫌いなおところは「遊べる場所が少ない」「不便」でした。</p> <p>11 ページをご覧ください。将来「浜田市で働きたいか、いつか戻って働きたいと思うか」の問いに対しては、トータルでは「そう思う」「どちらかというところそう思う」という子どもが 42%で、このうち「浜田が好き」と答えた子どもは</p>

	<p>53%となっています。逆に「浜田が好きではない」と答えた子どものうち、「浜田に帰ってきたい」という子どもは12%で、明らかな差が出ています。</p> <p>続いて20ページでは、「地域活動で参加してもよいと思うものがあるか」という問いに対して、クラブ活動やサークル活動、もしくはスポーツやレクリエーション活動等、自分が参加して楽しめる行事には出てみたいという回答が多い一方で、ボランティア活動や伝統文化の保存活動、防災安全の活動等は回答が少ない状況でした。</p> <p>23ページでは、「将来やりたいことが具体的にある」と「ぼんやりとある」の回答は75%で、次頁の「将来の選択に対して気がかりなこと」として、「社会に出ていく能力があるか自信がない」「自分に合っているものがわからない」「やりたいことへの情報が不足している」「やりたいことが見つからない、分からない」「自分で決断する自信がない」、という回答が多く寄せられました。</p> <p>それから30ページでは、結婚願望について、中学生では7割、高校生では8割強が結婚をしたいという気持ちがある、あるいはなんとなくあると回答しており、全国的にコンサルティング会社が調査をした結果が大体6割から7割程度ということですので、全国より少し高い数字といえます。</p> <p>このような結果を基に、アンケート調査の分析を依頼したコンサルでどういったことに力を入れていけばいいのかという提案が後ろに付いておりますので、ご覧いただきたいと思いますが、大きな項目として、やはり浜田に愛着を持っている子どもたちが将来帰ってきたいという思いが強いので、そういう子どもたちを育てていく、それが人口減少にも関係してくると思います。</p> <p>それから浜田の嫌いなところとして、遊ぶ場所が少ないという意見がありましたが、田舎ならではの遊び方をしっかり伝えて、遊ぶ場所がないのではなく、遊ぶ場所を知らないの、その気付きの部分をしっかり教えてあげないと、都会にはない子どもたちの要求への答えかと思っています。</p> <p>それから地域活動についても、ボランティアとか地域貢献ということを意識せず楽しく参加して地域に関わっていくという意識を持たせる、そういう仕組みが必要ではないかという提案もございます。</p> <p>おおまかに言いますと、この地域をしっかりと知ってもらって、ふるさとに愛着を持ってもらって、なおかつその中でキャリア教育と一緒に働くということの意識をしながら子どもたちの夢を育てていく。そういった取組に力を入れていくことが、人口の定着、あるいはU・Iターンの促進にも結びつくのではないかと位置付けでございました。</p>
(質疑応答)	
会長	只今、ご説明いただきましたが、委員の皆さんからご質問やご意見があればお願いします。
佐々木 玲慈 委員	13ページの「三隅出身の学生は浜田への愛着が高い」とありますが、三隅出身の学生は三隅への愛着があるということですか。
地域プロジェクト推進室長	「浜田が好きかどうか」という問いに対して、三隅出身の中学生あるいは高校生の割合が他の地域に比べて多かったということで、彼らが三隅町内を意識しているのか、そこを通じて浜田を意識しているのかまでは分かりかねます。
佐々木 大輔 委員	「遊ぶ場所が少ないので嫌い」という割合が1番多かったですが、遊ぶ内容や世代によって遊ぶ場所がどんどんステージが変わってきて、例えば10代の方と家庭を持った20代では違ってくると思うので、10代の子どもの目線だけを考えるのではなく、ステージごとにあわせてあったらいいのかと思います。小

	さい子どもを持った家庭の遊び場はあると思うので、その辺を区分けしてやったらいいのかなと思いました。
地域プロジェクト推進室長	今回、中学生と高校生へのアンケートでしたが、当然、遊ぶということに対しては20代、30代、40代、50代で変わってくると思いますので、そういった世代間でどういうものか明記していかなければと思っています。
会長	せっかくのアンケート調査なので、この成果を総合振興計画に反映していけたらと思いますが、具体的に盛り込むのかを教えてくださいと思います。
地域プロジェクト推進室長	後ほど総合振興計画と総合戦略について説明させていただきますが、その中で、「ふるさと郷育」の重要性を盛り込ませていただきました。それもふるさとを知るというだけでなく、産業界と一緒に、子どもたちの働く想いも含めて、そういうことが人口減少対策やまちづくりに重要であるということで、ふるさと郷育ということの基本目標の1つとして定めて、取り組んでいこうという特色を出していますので、後ほど説明させていただきます。
<b>(2) 基本構想素案、(3) 基本計画素案、(4) 総合戦略素案について</b>	
会長	続きまして、(2) 基本構想素案、(3) 基本計画素案、(4) 総合戦略素案についての3件を一括して事務局から説明をお願いします。
企画係長	資料1をご覧ください。前回総合振興計画の素案としてお示したところですが、追加修正しておりますので、内容を説明させていただきます。 また、将来像についてご提案させていただきます。 2ページでは、「浜田市を取り巻く情勢の変化」として、特に「少子高齢化と人口減少の進行」のところグラフを入れています。まずは日本の人口と高齢化率、人口予測、その下には島根県の人口と高齢化率の現状を入れています。 3ページでは、浜田市の人口と高齢化率ということで、平成22年までの状況を示し、下に自治区別も示しております。 4ページでは、人口動態ということで社会動態と自然動態について掲載し、5ページでは、人口構成グラフで、昭和30年、昭和60年、平成22年のピラミッド型からきのこ型に変化している状況を示しています。 7ページからは基本構想ということで、前回まで提案しておりませんが、基本方針、将来像について、資料1別紙で示しております。 「1 基本方針」(理念、基本的な考え方)の案ですが、「(1) 浜田らしい魅力を創造するまちづくり」、これについては100人委員会で「独自性」といったキーワードがあがっております。「(2) 協働による持続可能なまちづくり」ということで将来にわたって持続可能にすること、「(3) 県西部の発展をリードする連携したまちづくり」では、県西部の中核的な役割を果たすという、この3つを基本方針としてご提案させていただきます。 次に、(2) 将来像案について、次の3つの案をご提案申しあげます。 案1は、「住みたい 住んでよかった 魅力あふれる元気なまち 浜田 ～島根県西部の発展をリードする中核都市～」です。「将来像に込めた思い」として、「本市の多彩な地域資源の魅力を市民や来訪者が実感し、皆さんが将来に亘って浜田市に「住みたい」、「住んでよかった」と思うことができる魅力あふれる元気なまちを目指します。また、島根県西部の広域的な発展をリードする中核都市として、その役割を果たすまちづくりを進めます。」としております。 案2としては、「住みたい 住んでよかった 魅力あふれる県西部の中核都市 浜田 ～「浜田でよかった」と思えるまち～」です。 案3としては、「みんな(誰も)が住みたい 元気なまち 浜田 ～豊かな自然、

	<p>温かい人情、人のきずなを大切にすまち～」です。</p> <p>この3つの案を今日ご提案させていただきまして、ご審議いただきたいと思っております。決定については、次回9月の審議会だと思いますが、今日はこの案がいいというようなご意見があればお願いします。</p> <p>それと、この3案は、審議会の皆様にいただいた意見書の中でもやはり「住み続けたい」とか「住みたい」とかそういう魅力だとか、そういったご意見が多かったように思いますし、100人委員会でも、こういうキーワードが出ておりましたので、それらを基にこの3つの案を考えさせていただきました。</p> <p>資料1に戻りまして、11ページ第3章からは前期基本計画ですが、基本構想と将来像の案を踏まえてこれから考え方をお示しする予定です。</p> <p>14ページからは、「第3節 部門別計画」で、基本計画の見方で、各部門の見方を提示しております。それぞれ「現状と課題」、「基本方針」、「主要施策」という構成について説明しています。</p> <p>17ページからは、「第4節 自治区別計画」です。各自治区地域協議会で協議され、計画案が出ましたので、ご提案申し上げます。</p> <p>18ページからは、浜田自治区で、～地域の個性を一体的な施策につなぐまちづくり～というキャッチフレーズを付け、「現状と課題」、「基本方針」、「主要施策」という構成にしています。浜田自治区は、市全体の色々な事業をやるということもありますが、主要施策としては、①地元商店街の振興、②活力ある地域コミュニティの形成、③地域コミュニティと連携した防災力の向上、という3点に絞り、掲載しています。</p> <p>「自治区別計画」につきましては、各自治区の特色や課題の部分を抽出し、主要施策を提示しておりますので、ご理解いただきたいと思います。</p> <p>20ページからは金城自治区で、主要施策では、①農業振興と農地保全、②観光交流人口の拡大、③地域の活動組織や人材の育成、としています。</p> <p>22ページからは旭自治区で、主要施策は、①農地保全と農業振興、②交流人口の拡大、③共に支え合うまちづくりと地域活性化の推進、としています。</p> <p>24ページからは弥栄自治区で、主要施策は、①次世代に繋げる農業振興、②交流人口の拡大、③安心して暮らせるむらづくりの推進、としています。</p> <p>26ページからは三隅自治区で、主要施策は、①産業振興、②まちづくり組織を核としたひと・まちづくりの推進、③三隅発電所を核とした地域活性化の推進、として、各自治区とも3本柱の施策を掲げています。</p>
<p>地域政策部 次長</p>	<p>部門別計画の資料2-1から2-7までご説明させていただきます。</p> <p>まず、前回7月29日の審議会以降、3つの部会に分かれて審議していただきました。第1部会は藤本委員が部会長で8月6日(木)と18日(火)に、第2部会は西井委員が部会長で8月3日(月)に、第3部会は、岩谷委員を部会長として8月17日(月)にご審議いただき、多数の意見を出していただきありがとうございました。</p> <p>それとは別に、8月12日(水)には浜田市議会との意見交換会を行い、そこでも多数の意見をいただいたところです。そのような意見に基づいて、資料2-1から2-7を修正しております。修正点は多数に及びますので、主な修正点のみ説明させていただきますが、全体に共通する箇所は、各主要施策の目標の名称を「～の増加」や「～の延伸」、「～の減少」に変えました。</p> <p>それでは冊子ごとの主な修正点をご報告します。</p> <p>まず資料2-1の健康福祉部門については、見出しを「健康でいきいきと暮ら</p>

	<p>せるまち」とし、2 ページの現状と目標の2 点目に医師 10 万人に対する数や充足率の表を入れております。3 ページの「④かかりつけ医」の普及・定着の促進については、委員の意見に基づいて目標値を増やしております。7 ページの「子どもを安心して産み育てる環境づくり」ですが、主要施策「②ゆとりある子育てへの支援」は目標が「認可保育所定員数」の1 点だけでしたが、「放課後児童クラブ定員数の増加」を追加しております。</p> <p>資料 2-2 の教育・文化部門では、見出しを「郷土愛豊かな人を育むまち」とし、施策大綱の順を改め、前回までの「5 子ども教育の推進」を「家庭教育支援の推進」として2 番目にし、以降の施策大綱の順番を変更しました。また、主要施策の名称を改めた部分がありますが、「5 歴史・文化の伝承と創造」の③では、2 つの項目を1 つにまとめております。6 ページでは、主要施策の名称と目標を改め、前回までの「地域課題の解決支援事業を実施する公民館数」を「学校支援活動に参加したボランティア人数の増加」とし、現状値と目標値を見直しました。</p> <p>資料 2-3 の環境部門では、「豊かな自然環境を活かしたまち」とし、4 ページの主要施策の①の目標を「環境アダプトプログラム登録団体数の増加」として追加しております。7 ページでは、グラフを修正し、下にはリサイクル率を追加しております。</p> <p>資料 2-4 の産業経済部門では、「魅力ある産業を創造するまち」とし、2 ページでは、現状と課題にはTPP についての記述を追加しております。13 ページでは、4 行目の記載のうち「日本版DMOを導入し」のところは削除をお願いします。14 ページの②で「英語等の外国語表記など」とありますが、「英語等の」4 文字の削除をお願いします。14 ページの目標が2 つありますが、下の「はまごちツープライス料理提供食数の増加」を追加しています。17 ページでは、②「若者やUI ターン者等の雇用の促進」の目標はありませんでしたが、「新規学卒地元就職者数の増加」を加えています。</p> <p>資料 2-5 の7 ページでは、「3 地域情報化の推進」の「⑤中山間地域に進出する事業者のための高速通信網環境の支援」という施策大綱を追加しています。</p> <p>資料 2-6 の防災・防犯・消防部門では、「安全で安心して暮らせるまち」という見出しにしています。「3 消防・救急体制の充実」の中に「④火災に強いまちづくり」という主要施策を追加しています。</p> <p>最後に資料 2-7 の地域振興部門では、「市民とともに創り育てるまち」とし、2 ページの目標値を 82.6%から 90%に修正しました。7 ページの③大学等の学生支援の「新入生浜田探索ツアー参加者人数の増加」についても目標値を 500 人から 1,000 人に上げております。8 ページの①「男女がともに参画する社会の実現」も目標を「女性の参画率の増加」とし、目標値を 40.0%としました。</p> <p>以上は、部会開催後に修正しましたが、9 ページの「開かれたまちづくりの推進」についても多数の意見をいただきましたが、修正が間に合いませんでしたので、ここについては修正のできていない箇所となっております。</p>
地域プロジェクト推進室長	<p>資料 3 をご覧ください。総合戦略の素案でございます。</p> <p>前回の審議会で総合戦略については、人口ビジョンを第 1 章に、第 2 章に総合戦略ということで説明をさせていただきました。本日は、第 1 章の人口ビジョンのところは前回と大きな変更点や追加資料はございません。そういたしますのも、今回総合振興計画の部門別計画の議論をしていただいて、中身が少し明らかになりまして、総合戦略はそこから基本的に人口減少問題の該当する部分</p>

を抜き出していますので、今回はその項目をお示しすることになりました。

人口ビジョンは、これくらいの人数でありたいという希望的観測がある一方で、事業をやることで概ねどのくらいが見込めるのかという現実的な数値を伺いながら設定していくこととなりますので、次回の審議会までにしっかり説明できるようにしたいと思います。

また、島根県もまだ人口推計については決まったものがございませんので、そうした状況なども参考にお示ししたいと思います。

今日は第2章の総合戦略ということで資料を用意しましたので、5ページをご覧ください。浜田市の基本目標と数値目標ですが、人口減少問題に取り組むにあたって、生産年齢人口の確保が重要ですので、市内外の若者から「住みたいまち」と思われるようなまちづくりを目指すということとしており、キーワードとなるのが下表の右側にあるように、まず働く場、雇用の創出で若者を増やし、それからU・Iターンや定住の促進、結婚支援、ふるさと教育、あるいは産み育てやすい環境づくり、そして地域コミュニティの形成、公共交通の充実というキーワードがございします。

それぞれが社会増減に貢献するものか、あるいは自然増減に貢献するものかということを示印で少し説明をさせていただいています。

こうした中から整理して、基本目標を下表の①から④に掲げています。まず①産業振興と企業誘致による雇用の創出、②U・Iターンや定住の促進とふるさと教育の推進をする、これは子どもたちへのアンケートの結果を受けてひとつずつ捉えています。それから③子どもを安心して産み育てる環境づくり、④地域の特性を活かした安心して暮らせるはまちづくりとしております。

6ページでは、4つの基本目標ごとに全体的に目指す方向、数値目標を挙げております。数値目標の下に、基本的な方向性として水産業、農業、商工業の振興、10ページには、浜田港・三隅港を活かした産業振興、観光・交流の推進、企業誘致による雇用の推進としています。これは総合振興計画の中から人口減少対策に関係するものを抜き出しておりますが、特に産業振興に関する部分は雇用と密接に結びついていますので掲載しています。

8ページでは、基本目標「②U・Iターンや定住の促進とふるさと教育の推進」で、最後の行で「子どもたちが、ふるさとに愛着や誇りをもち、将来は地元で働きたい、地元に住みたい、という郷土愛の心を育てます。」として基本的な方向に挙げています。基本目標「③子どもを安心して産み育てる環境づくり」では、妊娠期も含めて子どもが健やかに育つまちづくりを推進するということとございます。

10ページには基本目標「④地域の特性を活かした安心して暮らせるはまちづくり」として、地域コミュニティの形成、地域の力によって市民主体のまちづくりを推進するというものです。それから大学等高等教育機関と連携した地域づくり、知的資源や多様な人材を活用させていただいて地域との連携によるまちづくりを推進し、3番目に公共交通の充実とありますが、交通網の整備、公共交通の持続可能なあり方を構築していくことを挙げています。

11ページ以降には、基本目標ごとに施策を総合振興計画から抜き出しておりますので、重なる部分があると思いますので、ご覧いただきたいと思ひます。

12ページの主な点としては、浜田漁港エリアの活性化を目指そうということと掲げております。それから14ページでは、特に農林業の振興、15ページの商工業の振興では、特にウェイトの高い製造業の経営基盤の強化ということに



	<p>あわせて、下に域外へのマネー流出を抑制し、域内での消費を増やすために地産地消（「Buy in Hamada」）を推進することとしています。それから創業・企業への支援と合わせて、今ある事業を承継して応援することです。</p> <p>以上のように見ていただければ、目標と具体的な施策がご覧いただけます。</p> <p>1点修正をお願いしたい箇所があります。20ページの②「企業誘致の推進」とありますが、誤植で、「若者やU・Iターン者等の雇用の促進」に修正をお願いいたします。</p>
専門企画員	<p>補足をさせていただきますが、先ほど総合振興計画から基本的には抜き出して総合戦略を作っておりますが、最終的に修正されたものをこちらで反映しきれてないものもございます。総合振興計画で修正したのものについては、随時こちらの総合戦略にも反映しますので、今回は食い違っている部分もありますが、ご了承いただきたいと思います。</p>
会長	<p>只今、事務局から3件について説明いただきました。</p> <p>それでは、基本構想の素案から順番に、ご意見やご質問をお願いしたいと思いますが、まずは、資料1の別紙の「基本方針」と「将来像」案について、ご意見があればお願いします。</p>
藤本委員	<p>資料1別紙で「中核都市」という文言が出てまいります。この「中核都市」という言葉はどのような位置付けにあるのでしょうか。</p>
地域政策部長	<p>「中核都市」というのは、例えば国の取扱いからすると、「政令指定都市」とか「中核市」とか人口規模でいう場合が一般的にあります。今回、浜田市がここで素案として出したものは、これまでの総合振興計画や色んな市の構想等を作る中で、県西部の中心を成すという意味で使っておりますので、特にその国の定義等に基づいて使っている言葉ではありません。</p> <p>例えば「中核市」とは人口20万人の定義がありますが、それとは切り離して浜田市独自の考えとして「中心都市」とか「中核都市」というような県西部を意味するものとして使っているものをご理解いただけたらと思います。</p>
会長	<p>その他いかがでしょうか。</p> <p>今日ご議論いただいても最終決定というわけにはいかないと思いますが、しかしながら、次回までには概ね固めなければならないということもありますので、例えば将来像については3つの案が出ておりますので、この中からこれがいいとか、あるいはここを変えた方がいいとか、ご意見をいただきたいと思います。</p>
藤本委員	<p>先ほど会長がおっしゃいました、例えば将来像として3つの案がありますが、どれがいいのかということを経済的にはまとめなければいけないと思うが、まとめる方法はお考えがあるのでしょうか。</p>
地域政策部長	<p>先ほど会長からありましたように、この案について冒頭説明しましたように、市民委員会のご意見や審議会の皆様に意見書で提出いただいて、執行部で市長と協議をして案として出させていただいているもので、修正等も当然必要なものもあると思います。ただ、この3点でどれがいいですかと市民公募することは想定しておりません。この審議会や議会、今ある色んな組織や関係団体等の皆さんの声を聞きながら、最終的には市長・副市長を含めた庁内の策定委員会で決定させていただこうと思っております。</p> <p>限られた期間でございますので、どれがいいですかということを公募することは想定しておりませんので、是非この審議会の皆様にご意見をいただけたらと思っております。</p>

藤本委員	<p>分かりました。どうして聞いたかという、正しい答えというものはないと思っています。したがって、どうやってこれを決めていくかといった時に、この場で色々言ってもまとまりがつかないものではないと思ひまして、こういったご意見をさせていただきました。</p>
佐々木 大輔 委員	<p>3案とも市外に向けての「定住」部分の要素が強く、短期滞在とか交流の部分が弱いのかなという印象を受けました。このキャッチフレーズは市外の人にこんなまちであるということを一言二言で表せるものがあると思うのですが、前回の「青い海・緑の大地・人が輝き文化のかおるまち」とすごくきれいにまとめられているところから、今回のものはとても「定住」を意識し過ぎているのかなという印象を受けました。</p>
会長	<p>その他いかがでしょうか。この場でご発言が難しいようでしたら、後でお願いをさせていただきますが意見書を活用いただいて、是非意見を出していただきたいと思ひます。</p> <p>多数決で決めるということではありませんが、ぜひ私だったらこれがいいというようなことを言っていただいた方が、おそらく最終決定をする時に感触を得られるのではないかと思います。</p>
地域政策部長	<p>今、会長からお示ししていただいたように、この資料を委員の皆様事前に送りしてお目通しただいてご意見をいただくのが筋ではございましたが、部会が数日前までありまして、修正作業等が非常にぎりぎりになり、本日は大変申し訳なく思っております。したがって、ご覧いただいておりますところは今日意見を出していただき、またお持ち帰りいただいて、後日9月上旬くらいに意見書を出していただき、それを踏まえて修正したものをまた改めてご提案するという作業をさせていただきたいと思ひます。</p>
会長	<p>基本方針と将来像以外で基本構想に係る部分でご意見はございませんでしょうか。</p>
佐々木 玲慈 委員	<p>資料1の20ページ、金城自治区の産業（農業）のところ、「金城自治区は、本市の約3割に相当する539haの水田面積を有し」という文言が分かりにくくて、市の面積の3割になるのかと思うので、本市の水田面積の3割にしてはどうでしょうか。</p>
地域政策部 次長	<p>委員ご指摘のとおりですので、そのような記載に変えたいと思ひます。</p>
会長	<p>打ち合わせの段階で事務局に個人的に申し上げたのですが、前の総合振興計画にもございました、資料1の10ページ「土地利用構想」がありますが、これが総合振興計画の中で、中々その後が続いていかないという思いが前からしてございまして、反映してできないかと思っております。</p> <p>自治区単位でゾーニングされている訳ではないので、難しいことは承知してはいますが、できればせっかくこの度「自治区別計画」というものがありますので、例えば浜田市はこういう地域、特性があって、こういうゾーニングがされた中で、ここを課題として主要施策を展開していくような書きぶりできないのかなという気がしております。</p> <p>次に、基本計画素案で部門別計画がありますが、そちらについてご意見やご質問があればお願いしたいと思ひます。それぞれの部会で議論いただいたところですが、ご担当いただいた部会以外の「部門別計画」はおそらく今日初めて修正案をご覧になるということになるかと思ひます。所属された部会以外のところでも、関心のある分野があるかと思ひますので、ぜひご意見をいただけた</p>



	らと思います。
佐々木 玲慈 委員	柿元委員が I ターンされて、以前言っていた「自治区があり、浜田の中に小さい浜田がたくさんあって分かりにくい」といったことが気になっていて、この中で今後自治区がどうなるのか書いてありますか。
企画係長	自治区制度の話は、まだ書いてありません。資料 1 の最初で、自治区制度のことも述べたいと思っています。資料 1 の 11 ページの基本計画では、空白になっていますので、こちらで自治区制度が 4 年間延長することになったこと、基本計画の 6 年との整合、自治区制度を 4 年延長した後はどうなるかは未定ですが、いずれにしても個性を活かしたまちづくりを進めていく考えですので、個性を活かしたまちづくり、市全体で魅力あるまちづくりを進めるところは、基本的な考えとしておりますので、基本計画でお示したいと思っています。
会長	なかなかこの場でということは難しいということは承知しております。もし、資料をご覧になってお気づきの点がありましたらお願いします。
佐々木 大輔 委員	資料 2-2 の教育の分野で、常々教育と産業を繋げるような形がほしいということを行いました、この資料のどこに表れているのか今一分からなくて、教育と産業の連携はあった方がいいと思うのですが、明確に表すことができないのでしょうか。
教育部長	教育で申しますと、2,3 ページの学校教育の部分が考えられるかと思えます。事業的には、地元の企業へ子どもたちが行って色んな体験をすとか、中学校で職場体験をすとか、といったところになるかと思えます。 そういった部分では、①「生きる力の育成」のところに入るかと思っています。主な事業には入っていませんが、検討させていただきたいと思えます。 それから 5 ページに、①「ふるさと郷育の推進」としてありますが、ふるさと郷育とキャリア教育は通じるものがありまして、子どもたちがふるさとの色んなことに関して学ぶことで関係がございまして、そこの辺りを検討させていただきたいと思えます。
会長	ぜひ書きこんでいただきたいと思えます。
佐々木 大輔 委員	5 ページの①「ふるさと郷育」には大人への郷育も含まれるのでしょうか。子どもだけではなく、大人でも浜田のことを知らない人が多いので、大人も含まれるということによろしいのでしょうか。
教育部長	おっしゃるとおりでございます。この①「ふるさと郷育の推進」もそうですし、6 ページの②「公民館における人材育成と拠点整備」も関係すると思っております。
地域プロジェクト推進室長	ふるさと郷育についての質問ですが、資料 3 の総合戦略にアンケート結果を勘案しまして、少し具体的に書き込んだことを説明させていただきました。 22 ページでは、将来浜田で働きたいかというところで、就学前から高齢者のすべての世代でふるさと郷育を展開することで、ふるさとに対する教育をしていくということ、学校だけでなく、公民館を含めて家庭教育を推進していきます。総合振興計画から抜き出すと言いながら、こちらでアンケートの分析をしているので、ここだけは逆に総合戦略の方が少し詳しくなっていますが、教育部で確認した内容ですので、逆にこうした内容を部門別計画に書き込んでいてもいいかと思えます。
藤本委員	資料 3 の 22 ページで、③住民参画によるまちづくりの促進という項があります。ここに U・I ターン者についてありますが、U ターンと I ターンをされる方とを一緒に考えるのではなく、元々別のものだと思うのです。U ターンされ

	<p>た方は地元で親御さんが居るとか、色々と事情がある訳ですが、I ターンされた方は、それはまったくないですね。したがって、ここに主な事業としてU・I ターン者交流事業とありますが、これを一緒にやってしまいますと、やはり考え方も違うと思いますので、例えば交流事業をやる際にはI ターンされた方を中心にやるべきではないかと思います。一緒にやると、やはり思いが違うと思います。</p>
会長	<p>これは、おそらく部会でも議論いただいて修正しきれなかったところがあるかと思いますが、いかがでしょうか。</p>
地域政策部長	<p>ご意見いただきましたように、これまでも色んな意見交換会をやってきましたが、I ターンの方を中心にやっているということが現状でございます。藤本委員からもありましたように、I ターンされた方はこちらに知り合いの方もいらっしゃるなくて、そういう相談相手とか色々な面での交流を推進するということで必要な場だと思っています。今ありましたように、Uターンの方は実家があり、お友達がいらっしゃるということで条件が違うと思いますので整理をさせていただいて、ご意見いただいたことに賛同したいと思います。</p>
西井委員	<p>資料 2-1 の 7 ページに放課後児童クラブ定員数の増加とありますが、定員数を増加するだけでは、子どもが幸せかどうかということには図れないと思います。私が勤めております児童クラブも 4、5 年前の 25 人くらいから 50 人になっておりまして、夏休みは子どもがストレスを抱えております。人数が 1 つの施設に 50 人もいれば、それも 1 年生から 6 年生までということであれば、今 1 年生から 4 年生までおり、支援が必要だと思われる子どももおります。それが 50 人もいては子どもが安心してゆっくりと心安らかに児童クラブで過ごせるという訳にはいかないと思いつくづき思いながら、この夏休みが終わろうとしています。</p> <p>定員数の増加だけではなく、施設の拡充も書いてありますが、もう少し細かく指導員のあり方やどういう人に指導員になってもらうかということも、もうちょっときめ細かく考えていただけたらありがたいと思います。</p>
健康福祉部長	<p>部会でもありましたが、文章に十分反映できていなくて申し訳ないですが、今ご指摘があったことについては、実際に施設の拡充については厳しいクラブがあることも知っていますので、なかなか一遍に解消することは難しいと思いますが、定期的に解消していけるようにしたいと思います。</p> <p>今言われた人材の面も、表現できるように修正したいと思います。</p>
会長	<p>それぞれご関心のある分野が違うと思いますので、順番は問いませんので、是非お願いします。</p>
馬場委員	<p>資料 2-2 で充実した話し合いをされたようですが、今日資料を拝見して残念だと思ったことが、3 ページの②「一人ひとりを大切にする教育の推進」の目標で「自分には良いところがあると思っている子どもの割合の増加」で、現状値が 79.1%なのに 33 年度は 80.0%とほんのわずかです。同じく中学 3 年も 73.9%から 75.0%。そして「人の気持ちが分かる人間になりたいと思っている子どもの割合の増加」でも 90.4%から 95.0%、97.0%から 98.0%と非常にわずかな増加を目標値に掲げているというのが残念だと思っております。目標としては 100%に近づけてほしい。それが結果論として 85.0%くらいに留まったというなら分かりますが、是非目標は高く掲げてほしいと思います。</p> <p>③「食育と体づくりの推進」でも、目標の「子どもの朝食摂取率の増加」が 97.0%から 98.0%とわずか 1%。これも 100%を目指してほしいと思います。「学校給食での地域食材利用率の増加」が 7 割にしか過ぎないというのは、色んな</p>

	<p>ものの条件が重なって仕方がないのかもしれませんが、地産地消を進めているのであれば産業部門と一緒にぎりぎりのところまで伸ばしてもらえたらと、要望したいと思います。</p> <p>6 ページの②「公民館における人材育成と拠点整備」というところで、これも「学校支援活動に参加したボランティア人数の参加の増加」で、平成 26 年度は 7,528 人なのに、33 年度には 8,000 人という目標値で、もう少し増やしていただきたいと思います。これからは地域で、学校支援活動に参加したいという方がもっと増えるという気がします。それは認知症予防にも繋がってくると思いますので、地域で支えるというところではもう少し目標値を検討していただきたいと思います。</p> <p>③図書館サービスの充実でも、立派な図書館を作っていただきましたが、平成 26 年度が 34.3%の利用登録率になっています。33 年度の目標値で 40%、せめて 50%にしていただけでないかなと思います。読むこともありますので、冊数については言いませんが、せめてこの 40%は 50%にしていただけでないかなと、1つ要望としてお願いしたいと思います。</p> <p>資料 2-7 の 2 ページの「地域コミュニティの形成」の主要施策で、①「市民との協働によるまちづくりの推進」と掲げてあり、「地区まちづくり推進委員会の組織率の増加」とありますが、現在 26 年度では 66%、平成 33 年度では 90%になっています。まちづくりを協働体制でやっていくということであれば、100%が望まれるところだと思いますが、9 割に留められた根拠を教えてくださいたいと思います。</p> <p>3 ページの②「地域コミュニティ支援の充実」で人材育成はとても大事なことだと思いますが、「人材育成研修会等の開催回数の増加」というところで、現状値が 2 回で 33 年度が 6 回、これはただ 6 回でいいのでしょうか。もう少し検討していただけたらと思います。</p> <p>もう少し人づくりのところでは、頑張って目標を掲げていただきたいと思います。それに近付けるための努力も一緒にしていただけたらと思います。</p>
来原委員	<p>馬場委員の意見を踏まえて、今回の計画は K P I 手法を用いて、後で P D C A サイクルにより精査をする手法になっています。馬場委員の言われた想いで目標を上げることはいいと思いますが、全部が達成する 100%という目標はあり得ないと思います。P D C A サイクルで全部できていないと達成できないということになりますので、達成できる目標を出して達成していく、それをチェックしていくということが今回の手法だと思いますので、もっと数字を上げることはできると思いますが、個人的に、100%とするのは、チェックすることがまずできないという意見を持っていますので、まず達成できる数字を毎年チェックすることがいいと思います。</p> <p>この中には全く P D C A サイクルについて書かれていません。計画が最初だと思うが、それをどういうふうにチェックしていくのかが、この審議会が必要だと思います。これが抜けているので、この辺りについても最終回までに出していただけたらと思います。</p>
会長	<p>議論の中で大事だと思いますので、目標値の設定についての基本的な考え方があれば教えていただけたらと思います。チェックの仕方等はどのように書きこんでいかれるのでしょうか。</p>
企画係長	<p>目標値の進捗評価をどのようにしていくのかということ、その後どういうふうに取り組んでいくのかのアクションが大切だと思います。資料 1 の最後</p>

	<p>に第5節として「行財政運営の推進」としております。ここで示していきたいと考えておりました、今検討しております。ここに掲げておりますのは、①適正な行政運営、②健全な財政運営としております。この第5節のところで、計画の評価について、どのように示すかを検討しているところです。</p> <p>いずれにしましても、毎年の目標値の進捗管理評価を行いまして、次年度以降に向けた新たな施策をやるのか、事業をやるのかということを検討しながらやっていきたいと考えております。</p>
会長	<p>そういった前提で目標値について執行部の方でお考えがあればお聞かせください。</p>
教育部長	<p>資料2-2の教育・文化部門ですが、数値についても一度精査させていただきたいと思います。</p>
地域政策部次長	<p>資料2-7の2ページの「地区まちづくり推進委員会の組織率の増加」について、90%の根拠は私が承知しておりませんが、前回82.6%だったものを90%に上げたということで、馬場委員さんの旭町では地域活動が盛んですが、浜田においては残念ながら町内会の運営さえもままならないようなところもございまして、高い目標にするなら100%にしたいところですが、残念ながら中々難しいということで、90%が妥当かということは検討させていただきますが、100%は難しいと思っています。</p> <p>3ページの「人材育成研修会等の開催回数増加」も検討させていただきます。</p>
会長	<p>今一度検討いただきたいと思います。</p> <p>その他の観点でいかがでしょうか。</p>
佐々木 大輔委員	<p>資料2-2の6ページの図書館のところで、浜田市の図書館の位置付けを把握できていませんが、使い勝手のいい図書館は地元の書店を圧迫する可能性が強いと思っています、役割分担や棲み分けをしないと、いい図書館にはならないと思っています。目標値というのも、市民全体に対するカード登録者数になってしまうと、50%は超えないだろうと思っていますので、そこを見直した方がいいのかなと思いました。</p>
教育部長	<p>この数値についても精査させていただきたいと思います。</p>
会長	<p>次に、「自治区別計画」案について、ご意見やご質問があればお願いします。(意見なし)</p> <p>この「自治区別計画」案については、各地域協議会で引き続いて審議される予定ですので、地域協議会から選出されている委員の皆さんは、ご検討をよろしくお願いいたします。</p> <p>また、意見書もご活用いただけたらと思います。</p> <p>次に、総合戦略素案について、ご意見やご質問があればお願いします。</p>
会長	<p>他にご意見がありましたら、「意見書」のご活用をいただけたらと思います。</p> <p>改めて申し上げますが、基本構想素案の中の基本方針、将来像については非常に重要だと思います。特に将来像については、3案出ておりますので、是非この案がいいということでも結構ですので、後ほど意見書で委員の皆様からご意見をお寄せいただきたいと思います。</p> <p>計画素案、自治区別計画も含めてですが、それから総合戦略素案について、次回にはある程度固めてまいりたいと思いますので、是非意見書をご活用いただき、事務局までご意見をお寄せいただきたいと思います。ちなみに締め切りが9月3日(木)になっておりますので、よろしくお願いいたします。</p>

岩谷委員	総合戦略素案の5ページで「住みたいまち」づくりに「ふるさと教育」とありますが、この「ふるさと教育」には「郷」と「教」の2つがあるのではないかと思います。どちらになるのですか。どう使い分けるのですか。
専門企画員	こちらのページにつきましては、地域プロジェクト推進室、事務局の方で、項目として抽出したものでございます。一般的に「ふるさと教育」は「教」の方を使っておりまして、項目として抽出した時点ではこの「教」の字でしたが、浜田市では「郷育」ということでやっておりますので、「郷」の字に変更したいと思います。
<b>(5) 「元気な浜田づくり市民委員会」成果報告会の開催について</b>	
会長	続きまして、議題(5)「元気な浜田づくり市民委員会」成果報告会の開催について、事務局から説明をお願いします。
企画係長	レジュメにありますが、「元気な浜田づくり市民委員会」成果報告会の開催ということで、10月9日(金)夜に開催したいと思います。 5月に開催しました100人委員会ですが、皆さんに対して市民委員会で2回やった成果をこういう形で基本構想の7つの柱にしたという内容と、あわせて審議会からの中間答申をいただく計画案について、100人委員会の皆様にもお知らせするという会を開きたいと考えております。そこでご意見もいただきたいと考えております。 また、10月1日から20日間でパブリックコメントを予定しており、この審議会が中間答申した計画案で行いたいと考えていますので、市役所で報告会、意見をいただく形で進めたいと思います。 この10月9日の成果報告会は審議会の皆さんにもご参加いただきまして、100人委員会の皆さんとの意見交換の場という形を取らせていただければどうかと思っておりますので、よろしくをお願いします。
会長	只今、事務局から100人委員会の成果報告会の開催予定と、この審議会としての参画についての提案がございました。9月末には中間答申をして、これをもってパブリックコメントを募っていく訳ですが、この中間答申案を100人委員会の皆様にお知らせすることも大事なことだと思います。 委員の皆さんのご意見を伺います。
佐々木 玲慈 委員	意見交換のイメージがわからないのですが、もう少し説明していただいてもいいですか。
企画係長	基本的には約2時間で、1時間近くは説明になろうかと思います。5月の2回の市民委員会で意見を出していただいて、それがどういう形になったかということ約20分程度でご報告させていただきたいと思っております。審議会でも100人委員会の速報や最終報告をさせていただきましたが、そのように報告するのが1点、その後に審議会からの中間答申による計画案のポイントをかいつまんで説明するという約1時間になるかと思っております。その後、ご意見を伺いたいと思っております。 行政で基本的には答弁しますが、この審議会としてどういうふうにかえられて、こういう案になったかというご質問をいただいた場合にはお答えをいただくようなことも想定しております。基本的なスタンスとして、審議会の皆さんの想いを述べていただくということによりよいのかと思っております。こういった内容で考えていますが、もう少し練らせていただこうとは思っています。 今日のように相対する形では思っておりません、会長、副会長あるいは部会長さんが発言される場面があるかどうかと思っております。

佐々木 玲慈 委員	ありがとうございます。 それ以上は、今のところは見えないようです。
企画係長	基本的には報告会というところですので、100 人が集まれば円卓のような形ではできませんので、審議会委員の皆様は横の方で聞いていただきながら場面があったらお答えいただくということかなと思いますが、報告の場ということでお考えいただけたらと思います。
地域政策部長	今日いらっしゃる 25 名の方に意見を個人的に求めるということは想定しておりませんので、100 人対 25 人ということではありません。基本的には 100 人委員会の方が 2 回で十分な議論ができなかったということもありますので、それがどういう具合に総合振興計画の素案に反映されたかという説明をして、さらに意見を深めていただき、審議会委員の皆様にも意見をいただいていますので、また 100 人委員会の皆様の意見も聞いていただいて、最後の仕上げになるかと思いますが、多少こうした方がいいよ、といったことがあれば、このメンバーの皆様からは私どもの方に意見をいただくということになります。 当然 100 人委員会の方からご質問があれば、事務局やそれぞれの担当部から今日みたいにご説明するということですので、出ていただいた皆様に質問がいくということではございませんので、そういうことをご理解いただけたらと思います。
藤本委員	個人的な意見ですが、今のお話を聞いていますと、非常に内容的にはなるほどと思うが、100 人委員会の皆様の意見も非常に貴重なものだと思います。 その一方で、審議会の皆様の意見も貴重な意見だと思います。お互い貴重な意見同士が出て、100 人委員会の皆様のご意見で自分たちがこういうことを申し上げたが反映されていない、といった意見が出た時が一番危険かなという感じがします。あくまでご報告というスタンスでいって、あまり意見を求めるということは危険性が大きいかなと思います。
会長	藤本委員からご意見がありましたが、一方的に説明してそれでおしまいという訳にはいかないかと思っておりますので、やはり多少は話を聞かないといけないという配慮がいるかと推測します。
副市長	基本的には質問が出たら事務局側が答弁させていただきますので、審議会の皆様はどうであるかというものがあれば、会長、副会長、部会長にお答えいただくこともあるかと思いますが、基本的にはこちらで答弁させていただくことになると思います。 じっくり 100 人委員会の皆様の意見を聞いていただくのが趣旨ですので、その中で最終的なところに反映していけたらいいのではないかと思います。
会長	それでは、この審議会もこの成果報告会に参加するというので、これが第 7 回の審議会ということで位置付けるということよろしいでしょうか。 (異議なし)
<b>3 その他</b>	
<b>(1) 今後の策定スケジュールについて</b>	
企画係長	(策定スケジュールを提案) 第 6 回審議会案 日時 9 月 24 日 (木) 午後 6 時～午後 8 時 (2 時間) 場所 浜田市役所〔4 階〕講堂 内容 ・中間答申案について (協議) ・総合振興計画素案について (中間答申案の最終協議)



	<p>・総合戦略素案について（中間答申案の最終協議）</p> <p>市長への中間答申 9月28日(月)午後 時～(30分)</p> <p>パブリックコメント予定 10月1日(木)～10月20日(火)</p> <p>「元気な浜田づくり市民委員会」成果報告会（第7回審議会）</p> <p>日時 10月9日(金)午後7時～9時</p> <p>場所 浜田市役所〔4階〕講堂</p> <p>第8回審議会案 【最終回】</p> <p>日時 10月28日(水)午後3時30分～午後5時30分(2時間)</p> <p>場所 浜田市役所〔4階〕講堂</p> <p>内容 ・総合振興計画素案について（最終答申案の協議）</p> <p>・総合戦略素案について（最終答申案の協議）</p> <p>市長への最終答申 10月29日(木)午後 時～(30分)</p> <p>(市議会との意見交換会)</p> <p>開催案 日時 9月8日(火)、9日(水)、10日(木)で予定</p> <p>場所 浜田市役所〔5階〕 全員協議会室</p> <p>10月末には最終答申をいただき、12月議会に向けて準備する予定です。</p>
会長	<p>説明がありましたが、皆さんのご都合はいかがでしょう。</p> <p>(都合が悪い委員5名あり)</p> <p>都合が悪い方もありますが、第6回は9月24日(木)午後6時からとし、100人委員会の成果報告会を第7回として10月9日(金)午後7時から、最終回となる第8回は10月28日(水)午後3時30分からの予定とさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。</p>
企画係員	<p>急遽、次回の審議会を9月24日開催ということで、5名の方が欠席ということでございますが、事前に資料を送らせてもらいまして、事前にご意見がいただけるようにしたいと思っておりますので、ご容赦願ひたいと思ひます。</p> <p>また、本日の計画素案に対するご意見につきましては、別紙で意見書を用意させていただきましたので、今日出たもの以外のお気付きの点、ご指摘の点、ご質問等ございましたら、意見書で出させていただきますと思ひます。締め切りを9月3日(木)までとさせていただきますので、約2週間でございますが、ご意見を賜りたいと思ひますので、よろしくお願ひします。</p>
<b>(2) 事務連絡について</b>	
企画係員	(委員報酬等の支払いについてお知らせ)
<b>◆ 閉会</b>	
会長	<p>それでは、以上をもちまして、第5回審議会を終了いたします。</p> <p>お気をつけてお帰りください。ありがとうございました。</p>

(午後8時00分閉会、所要時間 2時間)